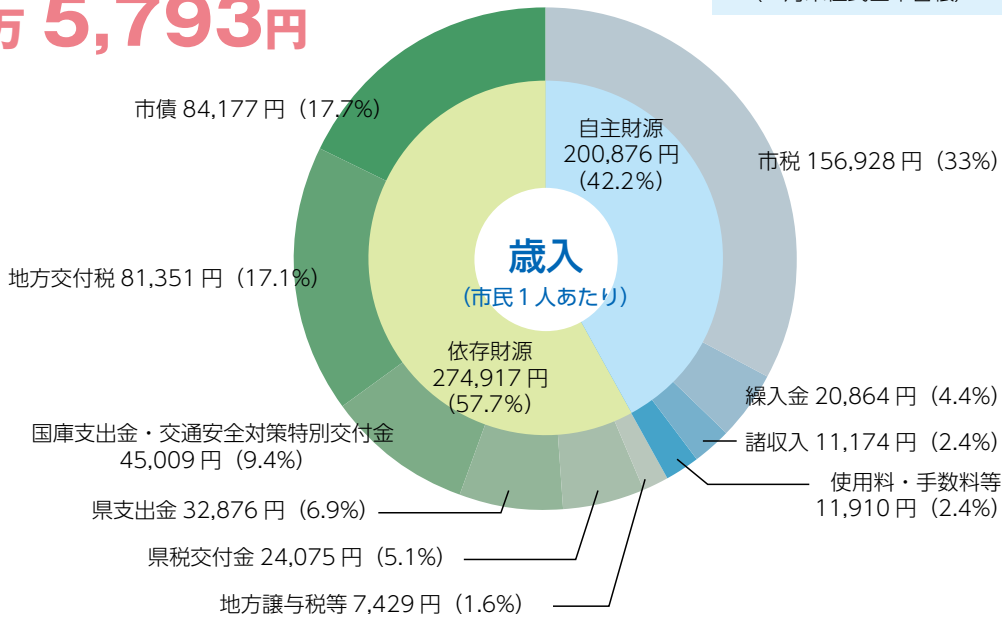


予算決算常任委員会

市制施行後最大432億 8千万円

47万 5,793円

甲賀市人口 90,964 人  
(2月末住民基本台帳)



平成31年度一般会計予算は対前年比16・3%、60億5千万円増となっています。  
予算決算常任委員会では、付託された新年度一般会計予算について、5日間にわたり審査を行いました。

オール甲賀で未来につなぐ深化予算

各委員からは新年度予算が市民のニーズに答えられているか、また有効な策となっているのかどうか、という視点から、議員全員が積極的に質疑を行い深めました。主な質疑は次のとおりです。

総合政策部所管

あいコムこうかの不要資産撤去の補助や「広報こうか」が新年度から月一回発行となることについて質疑がありました。

総務部所管

AI会議録作成の効果、人事給与システムのアウトソーシング、市職員の出勤・時間外労働・研修・休暇・懲戒処分の実態、また小学生の広島平和記念式典への派遣、甲南第一地域市民センターの



改修予定の甲南第一地域市民センター

改修、入札における市内業者の受注状況などについて質疑がありました。

市民環境部所管

市民課窓口での諸証明交付状況、防犯灯の管理区分、子育て応援医療、消費者生活相談、人権対策と就労相談、生ごみ堆肥化事業、住民基本台帳の閲覧状況、不法投棄、甲賀斎苑、改良住宅など、多岐に渡る質疑がありました。

上下水道部所管

汚水処理施設整備構想に基づく合併浄化槽の促進について、当初の信楽町全域の公共下水道との整合性についての意見がありました。

健康福祉部所管

災害時要支援者名簿の作成と取り扱い、学習支援事業、生活保護、障がい者就労支援部会での不適正な支出問題、医療的ケア児童生徒通学支援事業、福祉バス運行、医療政策ビジョン、健康寿命を延ばそう事業、新規事業の一般不妊治療助成の内容、社会福祉協議会への委託など、多方面にわたって質疑がありました。

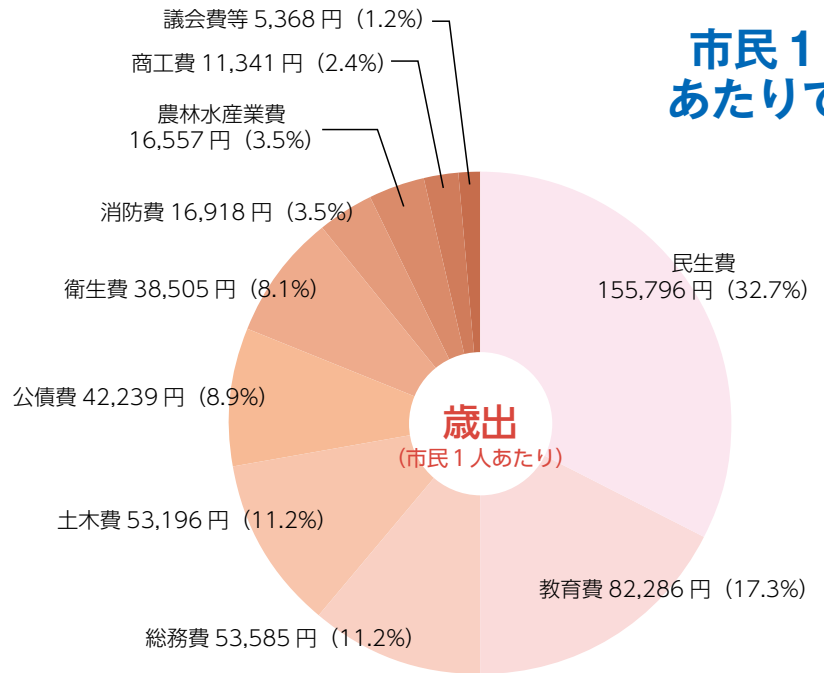
こども政策部所管

新規事業のプレイパーク整備推

# 予算決算常任委員会

## 平成31年度一般会計予算

市民1人あたりでは



### 賛成多数で可決

反対討論

予算総額が過去最大になった特徴は、合併特例債事業が集中していること。そのことが財政を圧迫し生活関連予算にもしわ寄せが懸念される。税金の使い方では、あいコムこうかに対し、本来は貸付で対応すべきなのに3年間で総額

1億3640万を補助することは問題。県立信楽窯業試験場移転用地確保のために市が基金で先行取得するのは問題であり、予算審査の前提となる取得土地の鑑定評価額を公表しないことも問題。その一方で敬老祝い金の削減、小学一年生の黄色い傘が削られたことも明らかになった。よって反対。

### 賛成討論

新年度予算は「オール甲賀で未来につなぐ深化予算」として、子育て・教育では、プレイパーク整備、水口地域公立保育園、伴谷幼稚園と伴谷保育園、水口東と岩上保育園、西部学校給食センターなどの施設整備。地域経済では、甲賀北工業団地、朝ドラのロケーション推進事業や全国植樹祭など。

進モデル事業・病児保育・保育園でのICT導入について、私立保育園に対する補助減額の要因、ニーズが高まる児童クラブ、保育の無償化と保育士確保などについて質疑がありました。

**建設部所管**  
空き家対策、地域振興事業、コミバスとコミタク、甲賀北工業団地、市営住宅と民間家賃補助、貴生川駅周辺整備事業、市道の維持管理補修、市民交流駅の管理業務などについて質疑がありました。

**産業経済部所管**  
観光DMOと甲賀市観光協会及び信楽町観光協会に対する支援策などをめぐり意見が集中しました。

**教育委員会所管**  
中学生の自転車保険補助金、I



2020年4月操業予定の(仮称)西部学校給食センター

CT機器の導入と無線LANの整備工事、学校給食におけるアレルギー対応、信楽における学校給食の食器、不登校、就学援助金、グランドゴルフ場、公民館整備、ホストタウン事業、文化ホール舞台芸術制作業務委託などについて質疑がありました。

福祉・介護では、コミバス無料乗車券の対象年齢の引き下げ、甲賀・甲南地域から甲賀病院へのコミバス直通便など、全体として地域や市民の願いが反映され将来に向けた取り組みもしっかりと予算化されている。

執行にあたっては地域や関係者と十分な協議を行い、将来に向けての展望も見据えた上で対応するよう申し添え賛成。